

都市再生本部 議事次第

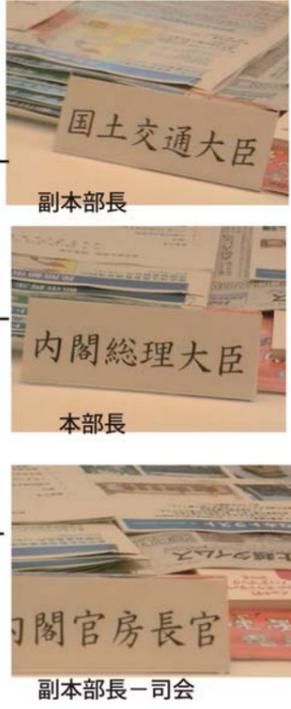
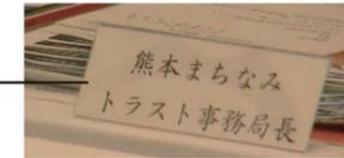
日時：平成18年7月4日（火）
 閣議終了後
 場所：官邸大会議室

- 議事次第：
 - 1 開会
 - 2 内閣総理大臣挨拶
 - 3 これまでの都市再生本部活動の成果について
 - 4 都市再生の担い手について（案）
 - 5 都市再生プロジェクト（案）
 「国家公務員宿舎の移転・再配置を通じた都市再生の推進」
 - 6 その他
 - 7 閉会
- 配付資料：
 - 資料 1 都市再生の担い手について（案）
 - 資料 2 都市再生プロジェクト（案）
 「国家公務員宿舎の移転・再配置を通じた都市再生の推進」
 - 参考資料 1 民間都市開発投資の促進の成果
 - 参考資料 2 都市再生プロジェクトの多様な展開
 - 参考資料 3 稚内から石垣まで～全国都市再生モデル調査の展開
 - 参考資料 4-1 熊本まちなみトラストの活動
 - 参考資料 4-2 くびき野NPOサポートセンターの活動
 - 参考資料 4-3 都市再生の様々な担い手
 - 参考資料 5 国家公務員宿舎の移転・再配置を通じた都市再生の推進（案）
 - 参考資料 6 都市再生プロジェクト事業推進費（調査分）について

当時、全閣僚が出席する都市再生本部が閣議のあと定期的に開かれていた。25分の会議時間のうち5分が富士川に与えられ、熊本市新町古町のまちづくりと熊本まちなみトラストについての報告を行った。

全国都市再生モデル調査は平成15年度から5年間実施された。熊本まちなみトラストは、新町古町地区の「河原町の再生」について応募しモデル事業を実施した。下記の資料にも「河原町プロジェクト」として掲載している。

お世話になった都市再生本部事務局長・澤井さんの席



当初は、都市再生本部職員の研究會から始まり、3回目の研究會では都市再生本部での発表原稿づくりを職員と一緒に、準備を進めた。



熊本まちなみトラストの活動（熊本市新町古町地区の例）

著者が発火点になった『中心市街地』の再生

熊本まちなみトラストとは

河原町プロジェクト

風流街（ふるまち）商栄会

精霊流しの復活

全閣僚の前に置かれた資料の一部に「熊本まちなみトラスト」の下の3枚があった

熊本まちなみトラストの活動（参考-1）

熊本城へ市電でGO!

熊本まちなみトラストの活動

熊本まちなみトラストは「記憶の継承」を基本コンセプトとし、歴史ある街並りで活動する下町のまちづくり団体と積極的に関与する。

熊本まちなみトラストの活動（参考-2）

まちづくりに取り組む「多様な担い手」

- 廣徳校区まちづくり委員会
- 一新まちづくりの会
- 熊本新町獅子保存会
- 風流街（ふるまち）商栄会
- 五福ふれあいまちづくりの会
- 河原町文化市場
- 唐人町通り繁栄会